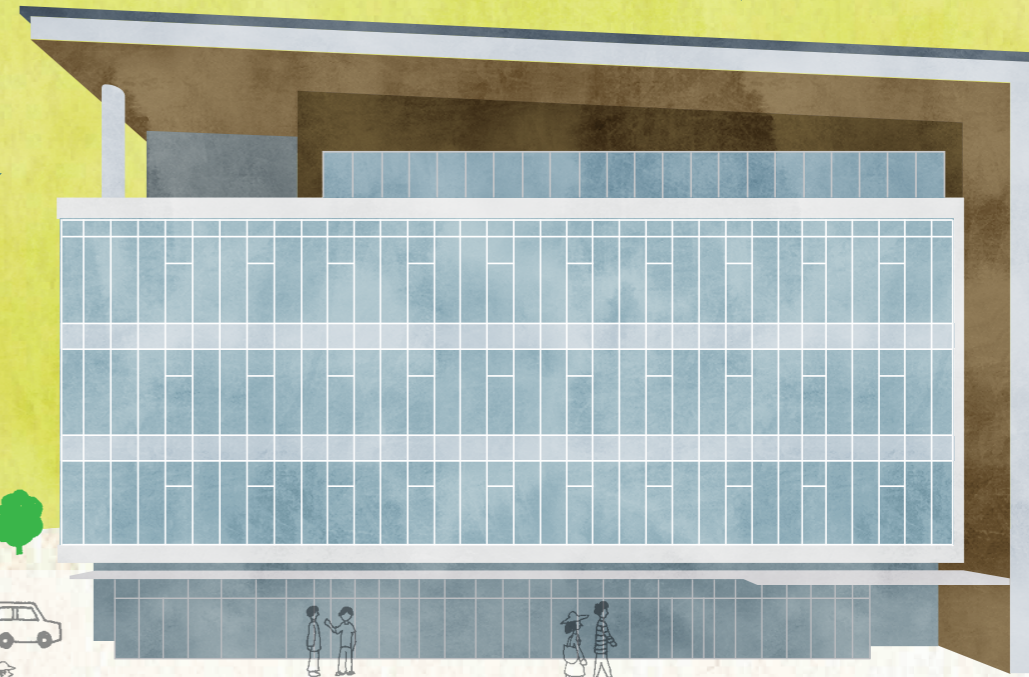


仙台長町未来共創センター

施設案内



仙台長町未来共創センターは
 平常時と非常時で機能が変わるリバーシブル・ビルをコンセプトに、
 平常時にも非常時にも役に立つ機能をそなえ、
 いつの時も明かりが灯り地域と地球に寄り添うサステナブルなリバーシブル・ビルです。
 私たち株式会社フクダ・アンド・パートナーズは持続可能な社会(SDGs)の実現に
 寄与し続ける存在になることを目指しています。



お客様から愛される「真のパートナー」になりたい Social Innovation & Fun Innovation

- ・社員数：グループ合計 約 200 名
- ・拠点数：国内 5 拠点 アジア 1 拠点
- ・業績：創業以来 20 期連続 増収増益で成長中
- ・実績：あらゆるカテゴリーの物流施設作り 約 624 万坪

機能支援やプロジェクトマネジメント業務を主力として、施設作りの様々なニーズに応えます。

設計・監理業務	プロジェクトマネジメント業務
不動産ソリューション業務	プロパティマネジメント業務
商業企画	エンジニアリングレポート業務

当社の国内外での SDGs の取り組みや、地域経済活性化を牽引した事などが評価され「はばたく 2021 中小企業・小規模事業者 300 社」に選出されました。



受賞理由・抜粋

「中核業務を通じて社会課題への貢献を目指す」

物流施設の開発、設計、建築、施設管理に関する多くの経験値をベースとして、SDGs、ESG、あるいはBCP等の視点にたった経営を推進している。東日本大震災の際には物流網の早期復旧がまずもっての課題として一早く被災地に入り、顧客物流施設の復旧にその技術力を提供した。また、ミャンマーではコールドチェーンをはじめとしたインフラ構築に自社投資をもって対応、更に国内においては仙台市長町に仙台市と東北大学(災害科学国際研究所)と連携し「災害時における施設機能を転換させるリバーシブル施設」の開発を推進中である。災害時においては地域住民の方々の一時的避難拠点として、72時間の生活に備えた非常食、備品を常置する施設運営を計画している。

企画設計 / 事業構築	株式会社フクダ・アンド・パートナーズ
建築設計 / 施工	株式会社安藤・間
設備設計 / 施工	株式会社さんでん
環境設備設計 / 施工	株式会社エナジア

仙台長町未来共創センター建設にあたり以下の補助金や公的制度を活用させて頂きました。
 2021 年度みやぎ二酸化炭素排出削減支援事業補助金（宮城県）
 仙台市民間防災拠点施設再生可能エネルギー等導入補助制度（仙台市）
 ふるさと融資（地域振興につながる民間事業で新たな雇用が見込まれる事業の民間投資支援）



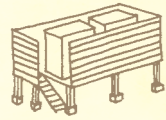
ALL ABOUT 仙台長町未来共創センター

○ 平常時の働き ○ 非常時の働き

外構

設備架台

Point ライフラインに関わる重要設備を2m以上かさ上げ、浸水時のBCP対策を実現



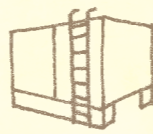
架台上 非常用発電機

● 停電時72時間連続稼働
Point 電気容量 300kVA、停電時に自動稼働



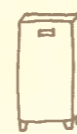
架台上 受水槽

● 断水時にすでに溜まっている水を生活用水として利用
Point 容量 6,700L、トイレを含め150~200人が3日間過ごせる



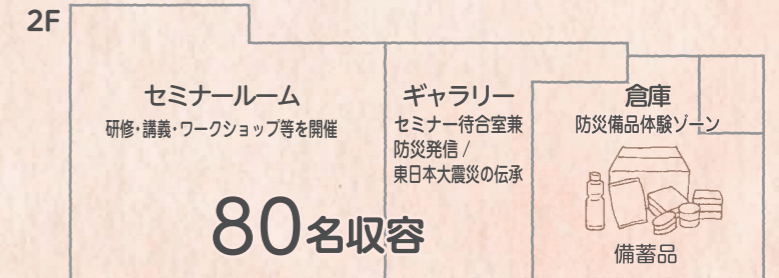
架台上 蓄電池

● 太陽光で発電した電気を蓄電
● 建物へ給電
Point 電気自動車のリチウムイオン電池を再利用した蓄電池

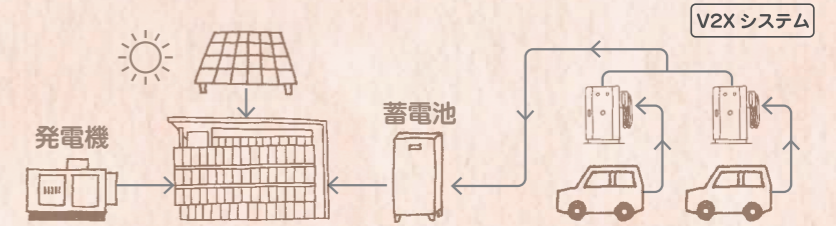


【環境・防災の特長】

① 仙台市より帰宅困難者一時滞在施設として認定、2階 AZ-COM BCP ギャラリー / セミナールームに80名収容可能



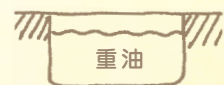
② 避難者の心理的不安を軽減するためV2Xシステムと非常用発電機で電気が消えない施設を実現



③ 脱炭素化社会実現に向け再エネ100%・二酸化炭素排出ゼロの「アスエネ」電力を建物全体に供給

インタンク

● 発電機用燃料をインタンクに保管
Point 保管容量 5,000L、発電機 3日間稼働可能

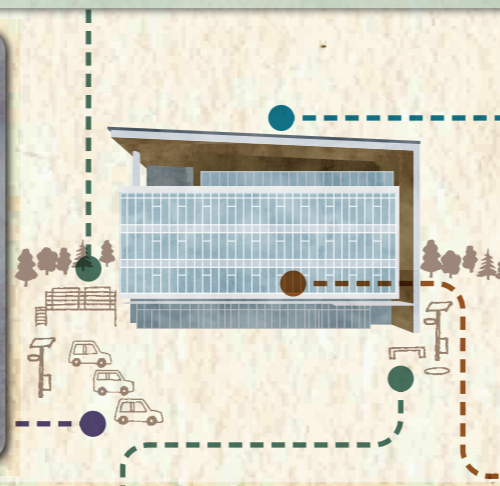
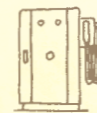


駐車場

EV充放電システム

● 電気自動車(EV)に充電
● 電気自動車(EV)から建物へ給電
Point 燃料電池自動車(FCV)から建物への給電も可能

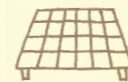
V2X システム



屋上

太陽光パネル

● 太陽光発電を活用し省エネを実現
● 避難場所に発電した電気を供給
Point 最大 30kW の発電能力 日中建物使用電力の約 25% を賄える



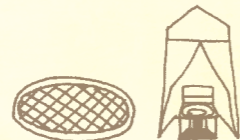
かまどベンチ

● ベンチ
● 炊き出し用かまどに変身



防災マンホール

● マンホールの上に簡易便座を設けトイレを迅速に確保



ソーラー街路灯

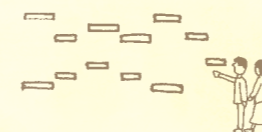
● 街路灯
● 太陽光エネルギーで稼働 携帯電話充電可能
Point 電気供給量 20W、30時間使用可能



センター屋内

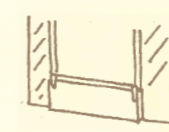
1F 南三陸杉のオブジェ

Point 東日本大震災時に被災を免れ、FSC 認証された南三陸の森林から切り出された南三陸杉を活用



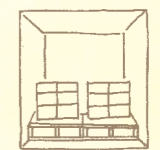
止水板

● 洪水時に水をせき止め建物に水の侵入を防ぐ



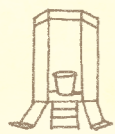
人荷用エレベーター

Point 1.1m×1.1mの荷物運搬用パレット 2つ積み込み可能(2tまで可能)



2F ほぼ紙トイレ

● 紙製の備蓄型個室トイレ。電気上下水道不要、工具無し20分で組み立て可能
Point 約1,600回分(約50人で1週間)使用可能



2F 自動販売機

● 災害発生時自動販売機の飲料を無償提供
Point 東日本大震災復興と地域復興応援に賛同する人々を応援するブランド「古今東北」の商品を扱う



2F 株丸和運輸機関が運営する 備蓄物流倉庫

● F&PのBCPとして社員用食料や備品を備蓄。非常時には避難者へ無償で提供
Point 床荷重 1トン/㎡



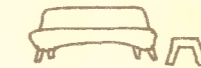
2F AZ-COM BCP ギャラリー / セミナールーム

● 株丸和運輸機関のBCP発信拠点 仙台市、東北大学災害科学国際研究所、丸和運輸、F&Pが共創し防災やBCPを発信。貸セミナールームあり
● 帰宅困難者一時滞在施設として非常時は帰宅困難者80名を受け入れる



5F F&P 仙台長町オフィス 受付室

Point 廃棄物という概念をなくすことを目標にサーキュラーエコノミーを目指したサーキュラーデザイン家具を使用



5F F&P 仙台長町オフィス

● 施設管理
● 首都圏災害時本社機能移転(BCP)・災害対策本部
Point 東京本社と東日本事業部からも重要設備監視を実施

